

## < 自己資本とY点

「資産はお金で残せ。」随分乱暴な言い方ですが、Y点でよい点数を獲得するにはこの言葉を忘れてはなりません。先月号で申し上げた通り、「経審」では資産の種類にうるさくなっています。資産の金額が同じでも、売上債権、未成工事支出金の多い会社、固定資産の多い会社は点数が下がります。そうすると、まず資産の中で保有して点数が下がらないのは、現金預金、有価証券、短期貸付金等その他流動資産（その他流動資産については、WiseFaxnet2002.2月号参照）繰延資産だけです。したがって、経営者として経営と「経審」の両方に対応するには現金預金を保有するしかないのです。

## > お金が全て

また、同じ自己資本ならば、総資本が小さい方が通常Y点の点数がよくなります。自己資本の大きさに合わせた資金運用をしなければなりません。決して背伸びをしてはなりません。借金をしてまで投資をしてはいけません。借金をすると有利子負債が多くなり、点数が下がってしまいます。

この結果、先月号の表のように同じ自己資本でもY点の点数に大きな開きが出てきました。もちろん損益の状況の影響もありますが、Y点への影響度の高い貸借対照表の内容の差が表れたと見るべきです。

そこで、経審点数アップシミュレーションシステムを使って点数の変化を観察してみましょう。ある会社がY点388点、P点767点、固定資産253,972千円、長期借入金238,000千円、短期借入金70,000千円だとします。この会社が、利益を変化させず、固定資産と借入金を増減させた場合の点数の変化を示したのが【表1】です。固定資産が少なくなると加速度的に点数が上がっていきます。第1順位の点数の差はP点で80点です。自己資本の小さな会社はこの原理を利用して点数を上げています。そして、毎年利益を大きく計上する会社でもこの差を利益の増加で埋めるのは容易ではありません。機会がありましたらこのソフトの利益変動シミュレーションで確認してみてください。また【表2】では、完成工事未収入金を回収できずにこの金額が増加し、その分の資金を短期の借入金でまかなった場合のP点の変化を示したものです。5,000万円増えると18点減少し、その後の増加は点数にあまり影響が出ません。

いずれにしても、同じ自己資本、同じ利益でもこれほどの差が出るのです。通常の経営であれば、現金預金は次なる利益を求めて投資されるはずですが、また、今投資時期だと判断されれば借入れをしてでも投資します。しかし、「経審」にそうした経営スタイルは通用しません。建設業の経営者は余分な神経を使わなくてはなりません。

WISENET編集部 松村 清（税理士）

【表1】

	評点	P点	固定資産	短期借入金	長期借入金・社債等
現在値	Y点388点	767	253,972	70,000	238,000
順位	増減点	点数	増減値	増減値	増減値
1	80	846	-250,000	-50,000	-200,000
2	42	808	-200,000	-50,000	-150,000
3	38	804	-200,000	0	-200,000
4	29	795	-150,000	-50,000	-100,000
5	27	794	-150,000	0	-150,000
6	19	785	-100,000	-50,000	-50,000
7	18	784	-100,000	0	-100,000
8	10	776	-50,000	-50,000	0
9	9	775	-50,000	0	-50,000
10	1	767	0	-50,000	50,000
11	0	767	0	0	0
12	-6	760	50,000	-50,000	100,000
13	-7	760	50,000	0	50,000
14	-7	759	100,000	0	100,000
15	-7	760	100,000	-50,000	150,000
16	-7	759	150,000	-50,000	200,000
17	-8	759	150,000	0	150,000
18	-8	758	200,000	0	200,000

【表2】

	評点	P点	完成工事未収入金・売掛金	短期借入金
現在値	Y点388点	767	88,687	70,000
順位	増減点	点数	増減値	増減値
1	0	767	0	0
2	-18	748	2位以降は	50,000
3	-19	748	微少な下がり具合	100,000
4	-19	747		150,000
5	-19	747		200,000
6	-20	747		250,000
7	-20	747		300,000

Wisdom 資料送付希望（無償）  
 Wisdom 2004 デモ版送付希望（無償）  
 送信先宛名変更（下欄に変更後の宛名をご記入ください）  
 今後「Wise FAXNET」送信不要  
 今後「Wise FAXNET」メール送信に変更希望



お問い合わせ

Wisdomの最新情報についてはホームページでもご覧いただけます。

<http://www.wise.co.jp/>

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

ご担当者様

ご役職・部署名

TEL

FAX

今後メールでの送信をご希望される方は右にアドレスをご記入ください。 e-mail

「WISE FAXNET」は経審対策 / 書類作成システム「Wisdom（ウィズダム）」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求（99年2月号～）は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードできます（10月号は10月29日より可能）。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。 ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp/>